



MITOYA

島根三刀屋
県立高校

蒼雲

学校だより
第93号

【発行所】
三刀屋高等学校
〒690-2404
雲南市三刀屋町
三刀屋912-2
TEL: 0854-45-2721
FAX: 0854-45-5630

【印刷所】
有限会社木次印刷
〒699-1312
雲南市木次町山方
630-5
TEL: 0854-42-8133
FAX: 0854-42-8155

夢を語ろう
三高で!
君の夢を叶える
島根全県区の
三刀屋高校です

入学予定の皆さんへ



中学生の皆さんも、左の「答辞」から三刀屋高校総合学科での生活をイメージしてみてください。そして、夢をふくらませて下さい。

ふるさとを担う154名の門出

~~~~~  
平成27年  
3月3日(火)

### 卒業生代表答辞

—— 答辞から見える三刀屋高校総合学科の3年間 ——



宍戸 由佳

#### 答辞

寒さの厳しかった冬も  
終わった今日の佳き日に  
私たち一五四名は卒業の  
時を迎えました。

振り返ってみると、この  
三年間は総合学科である  
三刀屋高校で、自ら課題  
を見つけ、解決していく  
という体験を重ねて、自  
分の可能性や将来の方向  
性を見出すことのできた  
素晴らしい時間でした。

三年前の春、高校生活  
への大きな不安と期待を  
抱えながらこの場所に入  
学式を迎えました。あの  
日、初めてクラス分けの  
表を見た時はとても緊張  
したのを覚えています。

このように、私は小学校  
中学校ともに小規模校で  
あったため、一学年に一  
クラスしかありません。  
から五組まであり、し  
かも全く知らない人た  
ちと同じクラスになっ  
ていることを表で再確  
認したからです。

やがてクラスの雰囲気  
気に少しずつ慣れ始め  
たところで、三瓶での

フレッシュマンセミナー  
が行われました。二泊三  
日の短期研修でありなが  
ら、内容はとても濃く、  
驚くほど長い勉強時間、  
あまり話したことが友達  
とのグループ活動、担任  
の先生との面談。初めて  
のことも多く、戸惑う時  
も多々ありましたが、こ  
の研修を全員で乗り越え  
たからこそ、一層クラス  
メイトや同じ学年の仲間  
たちとの絆が深まったと  
思います。その後もイン  
ターンシップやライブ  
ラン作成など、一年生の  
間に仲間たちとともに自  
分をみつめ、課題を乗り  
越える活動が続き、自分  
たちの将来の目標を明確  
にすることができました。

さらに二年度には、課  
題研究を通して自分の将  
来の進路分野について調  
べ、その職にかかわる課  
題を見つけ、どう解決し  
ていくか自分の意見をま  
とめる活動にも取り組ま  
しました。

私は中学生の時から看  
護職に就きたいと考えて  
いました。看護職には看  
護師、保健師、助産師、  
養護教諭など数多くあり  
ます。どの職に就くか高  
校に入学してからも迷っ  
ていましたが、三刀屋高  
校のキャリア教育を通じ  
て「雲南圏域で働き続け  
る助産師になりたい」と  
いう明確な目標を持つこ  
とができました。早いう

ちから目標を持つことで  
受験へのモチベーション  
も上がり、自分の納得の  
いく進路選択ができた  
と思います。入学した時  
は「総合学科」とは一体  
どのようなものなのか良  
く分かっていませんでし  
たが、キャリア教育の中  
で自分の将来について考  
える時間や講演会の時間  
がとて多くなり、三刀屋  
高校で学ぶことができて本  
当に良かったと思います。

そんな私にとって、高  
校生活の一番の思い出  
は、やはり部活動です。  
私は皆があまりやったこ  
とがないことをしてみた  
という思いから、箏曲  
部に入部しました。箏曲  
部の新入部員は全員初心  
者で、爪の付け方も楽譜  
の読み方も分からないま  
まのスタートでした。練  
習してもなかなか上達せ  
ず、思うように弾けなく  
て自分に苛立つこともあ  
りました。また、部員同  
士で意見の違いから衝突  
することもあり、部をや  
めてしまいたいと思っ  
た時期もありました。箏曲  
では指揮者がいないため  
全員が間をしつかりと保  
ち、心を一つにしないと  
演奏できません。このよ  
うな苛立ちや衝突は、和  
を乱す原因になりました  
しかし、それを乗り越え  
感情を込めて一曲を弾き  
きることを目標に部員全  
員で練習した時間は、忘

れることのできない時間  
となりました。残念ながら  
ら一生懸命頑張ったも  
も練習を繰り返したも  
の、コンクールで良い結  
果を残すことはできませ  
んでした。しかし、文化  
祭や地域のイベントなど  
のステージで、練習の成  
果が十分に発揮され自分  
たちの納得のいく演奏が  
できた時には、今までに  
感じたことのない達成  
感を感じることができ  
ました。この経験は運動  
部の人も、文化部の人も  
少なからず味わったこ  
のあるものではないでし  
うか。どんな結果であろ  
うと、無駄な努力は一つ  
もないと思います。また、  
毎年、卒業式と入学式、  
呼名の時に体育館の二階  
で琴を演奏したことは、  
とても良い経験になりま  
した。今年は琴の演奏を  
聞く側になり、嬉しいよ  
うな感じがしています。辛  
い時期もありましたが、  
私たちが熱心に指導して  
くださり、箏曲の楽しさ  
を教えてくださいました  
方にとっても感謝してい  
ます。

そして、卒業の時が迫っ  
てきました。今まで一緒  
に学校生活を送ってきた  
仲間とも今日でお別れで  
す。私たちがこれから  
人生の中でたくさん出  
逢いと別れを経験してい  
きます。出逢いを楽しみ、

別れを受け止め乗り越え  
ていくことで強い人間に  
なれることを私たちは知っ  
ています。最後の一日を  
ともに噛みしめながら、  
未来に向かって進んでい  
きたいと思っています。

最後に、寮に入らず家  
から通いたいというわが  
ままを聞いてくれて、学  
校やバス停まで毎日迎え  
に来てくれた家族。恥ず  
かしくて面と向かっては  
なかなか言えないけれど、  
今まで本当にありがとうございました。  
私たちに熱心に授業をし  
てくださった先生方、私  
たちの活動に理解を示し  
協力をしてくださった地  
域の皆様方、本当にあり  
がとうございました。

三年前に高校生活がこ  
こから始まり、今日ここ  
で高校生活が終わります。  
しかし、終わりがあるか  
らまた始まっていきます。  
一人ひとりが進んでいく  
道は違いますが、同じ場  
所で学んだ仲間である  
ということが変わりませ  
ん。私たちに関わってい  
た全ての皆様に、改め  
て感謝の意を表します。  
ともに、三刀屋高校の益々  
の発展をお祈りして答  
辞とさせていただきます。

平成二十七年三月三日  
卒業生代表 宍戸由佳

# "Tomorrow is another day"

## もう一つの校長式辞

卒業生へのエール

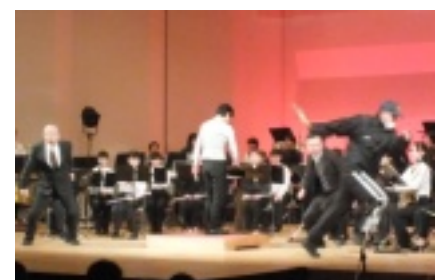
3/2、同窓会入会式で

「今日うまくいかなかったと  
いって、悲観する必要はない、  
明日はきっといい日だよ」とい  
う意味です。この言葉は映画  
「風と共に去りぬ」の最後の場  
面でスカーレット・オハラとい  
う人のセリフです。「辛いこと

や苦しいこといろいろあっても、  
きっと明日は違う一日になるよ」  
と励ます言葉です。  
私の人生でうまくいかないとき、  
失敗したとき、寝つきが悪  
いとき、この言葉を自分に言い  
聞かせています。「いいか、明  
日はきっと違う一日になるよ」  
人生は谷あり、山あり。いろい  
ろなことが起こります。楽しい  
こともあれば悲しいこと、うま

くないこともあるでしょう。  
心配で夜も眠れないこともある  
でしょう。そんな時、この言葉  
を思い出してください。  
Tomorrow is another day.  
このTomorrow is another day.  
の気持ちで人生を歩んで行って  
ほしいと思います。皆さんのご  
多幸をお祈りします。

## この日があるから 担任はやめられない



吹奏楽部の定演に乱入した3年  
担任団。卒業式を終えてエネル  
ギーを持て余し気味? いやいや、  
寂しいんですヨ!



校長式辞

弥生三月、天も地も躍動す  
る春。寒をしのいだ梅の花が  
咲く頃となりました。本日の  
旅立ちの日にあたり、多数の  
ご来賓の皆様のご臨席のもと  
、平成二十六年年度の卒業証  
書授与式をこのように盛大に  
挙行できますことは、まことに  
喜ばしく、本校教職員を代  
表いたしまして、厚くお礼申  
しあげます。ありがとうございます。  
また、保護者の皆様、お子  
様の晴れの日を迎え、さぞや  
お喜びのことと存じます。新  
たな旅立ち、心よりお祝い申  
し上げます。

さて、先ほど卒業証書を受  
与しました百五十四名の皆さ  
ん、卒業おめでとう。三刀屋  
高校で過ごした三年間はいか  
がでしたか。光陰矢のごとし  
あつという間の三年間であつ  
たと感じている人も多いかと  
思います。一方で、一つ一つ  
の出来事を思い出すと、あれ  
もあつた、これもあつたと中  
身の濃い三年間ではなかつた  
でしょうか。楽しいことだけ  
でなく、辛いことや悲しいこ  
と、様々な困難を乗り越えな  
がら、よく三年間学校に通い  
続け、今日の日を迎えました。  
これも家族、友達、地域の方々の  
支援を受けながら、君たち  
自身がよく努力したらのだと  
君たちの健闘を称えたいと思  
います。

さて、卒業生の皆さんに、  
はなむけの言葉を三つ、贈り  
たいと思います。  
一つ目は、「生涯学び続け  
よう」ということです。卒業  
は終わりではありません。卒  
業式を英語で言う「Commencement  
」は「ともに始める」という  
意味です。「卒業は終わりでは  
なく、ともに始めよう」とい  
う意味を英語の Commencement  
は持っています。卒業生のみ  
なさん、卒業は終わりではな  
く、新たな始まりです。新た  
な「学び」の始まりです。  
現在、世界各地で自然環境  
の破壊、異常気象や大気汚染  
など様々な環境問題が起きて  
います。また、宗教対立や地  
域紛争により、毎日多くの命

が失われ、とりわけ、多くの  
子どもが犠牲になっています。  
ノーベル平和賞を受賞したマ  
ララ・ユサフザイさんは、受  
賞スピーチの中で「世界で五  
千七百万人の子どもの教育を  
受けておらず、小学校すら行っ  
ていない」と言っています。  
また、日本でも少子・高齢化  
の進行による中山間地域の衰  
退、貧富の格差の拡大、また  
地震、集中豪雨や火山噴火に  
よる災害など様々な問題が発  
生しています。  
日本や世界はまさに困難に  
満ちています。このような社  
会にあつて、今まで君たちが  
小学校、中学校、高校で学ん  
できた知識だけでは、不十分  
です。今まで学んできたこと  
を礎に、学び続けることが必  
要だと思えます。様々な問題  
に関心を持ち、時代の波の吞  
まれず、自分の意見を持ち、  
きちんと善悪を判断し、主体  
的に生きるために、学び続け  
たいと思えます。

二つ目は「他を思いやる心  
を持ち続けよう」ということ  
です。今年もまた三月十一日  
がやってきます。四年前の三  
月十一日に東日本大震災が起  
こりました。震災による死者  
は今年の一月九日現在で、一  
万五千八百八十九名、行方不  
明者二千五百九十四名を数え  
ます。大切な人を亡くし、癒  
されることのない悲しみとど  
もに生きている人々もたくさ  
んいらつしやいます。また、  
東京電力福島第一原子力発電  
所の事故により避難生活を余  
儀なくされている方も十二万  
人もいらつしやいます。  
私は、二年前に宮城県南三  
陸町へ高校生と一緒に、災害  
ボランティア活動に出かけた  
ことがあります。そこには全  
国の各地から様々な年代の人々  
がボランティア活動に来てい  
ました。困った人がいれば、  
手を差し伸べようとするたく  
さんの人々がそこでは活動し  
ていました。

青年海外協力隊を派遣して  
いる独立行政法人JICAの  
ホームページにベトナムの新  
聞に載つた記事が掲載されて  
います。一部抜粋して紹介し  
たいと思えます。  
ベトナム人警察官のハ・ミン  
・タインさんは、福島県警  
を支援するために被災地に入つ  
た。「三月一六日の夜、被災  
者に食料を配る作業を手伝う  
ために自分は小学校に派遣さ  
れた。人々の長い列の中で、  
九歳ぐらいの子供を見かけた。  
彼は短パンとTシャツしか着  
ていない。非常に寒い気温で  
彼が列の最後にいるため、僕  
は彼の番になれば、配る食料  
もないと心配し、近寄って話  
を聞いてみた。彼は体育の時  
間の最中に地震と津波が来た。  
その近くで仕事をしていた彼  
の父親が学校に駆けつけた。  
学校の3階のベランダから彼  
は父親と車が水に飲み込まれ  
たのを見た。自宅が海岸のす  
ぐ近くにあり、母と弟/妹も  
避難できなかつただろう。肉  
親について話すとき、彼は急  
いで顔を振り、涙を拭き、声  
を震わせた。彼が寒そうに震  
えているのを見て、自分は警  
察のコートを脱いで、彼に羽  
織り、夕食のバックを渡した。  
彼がすぐに食料を食べると思っ  
ていたが、彼は配給用の食料  
箱の中にバックを置いて列に  
戻つた。僕のびつくりした眼  
差しに対して、彼は『ほかの  
多くの人が僕よりもおなかを  
空かせているだろうから、そ  
こに入れて、公平に配っても  
らうように』と話した。それ  
を聞いて、私は急いで顔をそ  
らした。涙を隠した。最も困難  
な時に、九歳の男の子が大人  
の私に、人としての道を教え  
てくれるとは思ひもならなかつ  
た。」  
ぜひ、「他の人を思いやる

平成二十七年三月三日  
島根県立三刀屋高等学校長  
恩田 佳雄

今、三刀屋高校総合学科では 今、三刀屋高校総合学科では

教科「産業社会と人間」では

学校評価に係る保護者アンケートの中で、左枠内のようなご意見がありました。

10年前に普通科から総合学科に移行した本校では、現在でも多くの生徒は上級学校への進学をめざしており、進路志望をかなえるべく日々の学習に取り組んでいますが、総合学科の三刀屋高校ではめざす夢・目標を見え据えるためのキャリア教育に腐心し、日々の学習のモチベーションを高める仕掛けづくりに意を注いできたところです。卒業式の答辞にもありますように、3年間で拝聴する講演(講話)も決して少なくなく、さまざまなプログラムの中で先輩諸氏を含む地域の皆様の声、助言に接する機会にも恵まれた学校と考えております。

1年

10年後の自分の姿を描きました！  
ライフプラン／マニフェスト作成

冬休みに作成したワークシートに基づいて、ワードによるレポートを作成しました。10年後の理想の自分になるために、今、大切にすべきこと、取り組むべきことはズバリ何か？これをマニフェスト(宣言・約束)としてA4一枚のレポートにまとめ、クラスごとに冊子にしました。

出会は図書館でも



での読書活動「図書館で生き方・あり方を学ぼう！」

教科「産業社会と人間」の時間にライフプランを作成するのにあわせて、1年生は3学期ロングホームルームで「図書館で生き方・あり方を学ぼう」と題して読書活動を行いました。

【生徒の感想】  
▼世の中には、さまざまな考

えを持つて生きている人がいるのだなと思った。人物伝の人物と自分を重ね合わせてみることで、今の自分に向き合う良い時間になった。▼同じグループの人の本について聞いて、あらためて本は色々なことを教えてくれるし、自分を導いてくれるものだと感じました。これからの人生の中で本が助けてくれることがあると思います。たくさんの方に本に出会っていききたいと思いました。



自分が選んだ本を班員に紹介。

(例) 得意教科を生かす職業に就くために(1年男子)

私は10年後、野菜の品種改良の研究者になりたいと思っています。私は小さい頃から自然に恵まれた環境で育ち、自然と触れ合って生きてきたので、自然に関しては人並み以上の知識があるはずで、その経

験を生かせる野菜の品種改良の研究者になりたいと思いましたが、将来も地元に住み、品種改良をしながら自然と私たちが取り巻く環境、いろいろな野菜について知識を学び、新たな野菜を作り、全国の農家を支える大切な役目を担っているでしょう。私の家も畑や田んぼがあり、祖父と祖母が一年中野菜や米を作っています。しかし毎年のように虫の被害や大雨、雨が降らないなどの影響で大切に育ててきた野菜を十分な量が取れないことがしばしばあります。そんな農業を困らせる被害に負けない丈夫な野菜をつくるのが農家を救い、親孝行にもなります。

この記事は、3月5日発行の『図書館だより』今年度12号を抜粋して再構成したものです。『図書館だより』には4名の生徒の読後の感想も掲載してあります。(HPにも掲載)。

私は生物と化学が好きなので、将来はそれらの得意教科を生かせるような職に就きたいと思いい、二年の文理選択では理系のクラスに進み、生物を選択するつもりです。まだ進学したい大学は見つかっていませんが、その後高校を卒業して生物科のある大学へ進学し、そこで生物のさらに深い内容を学び、生物や自然環境にまつわる資格をいくつか得ているでしょう。まずは「大学進学」という第一の壁を超えるために、今のうちからコツコツ学力をつけ大学入試の時苦しい思いをしないようにすることが、今やるべき第一の目標です。そして第二、第三の目標は、進学する大学を決めることと、あまり親の手を借りずに学校生活を送ることです。できれば国立の大

学を選び、大学に進学すればおそらく一人暮らしをすると思うので、高校生のうちに自炊や洗濯など一人でごこなせるようにしたいです。

今の自分は部活と勉強の両立が上手くできてなく、充実しているとはとても言えない高校生活送っている気がしますが、そんな状況ですが、今日の前にあることに向かってコツコツ頑張っている私は基本的な性格で、挨拶や掃除、基

十年後、自分が品種改良の研究者になれているかは定かではありませんが、きっと自分の得意教科である生物に関係する職業に就いているはずだと思えます。もちろん今の知識では自分の理想とする職業には就けないと思うので、家で毎日少しずつ生物の学習をし、それに加えて、普段からきれいな挨拶、先生や目上の方と話す際に敬語を意識して会話ができれば、今の高校生活をよりよいものにしていくはずで

# 三高新时代への胎動

地域でつなぐキャリア教育モデル事業実践校

## 地域とともに

第10回 今学期も地域の皆様に大変お世話になりました!



学年末試験後の2月28日(土)、2年生各クラスのボランティア委員が学校入口の

### いつもお世話になっています!

## 2 バスセンター周辺を清掃

三刀屋バスセンター周辺の清掃奉仕に汗を流した。土曜補習終了後の約30分、

三高生もお世話になっている施設をきれいにしようという委員会が計画した。今後も定期的な活動が期待される。



### ボランティア委員会

- エコキャップ運動四つのいいこと
- 小さなキャップでも集めて分ければ資源リサイクルして価値ある材料に!
- キャップをゴミとして燃やさない。Co2の削減により地球環境を守ります。
- 世界の子どもたちを病気から守るワクチン・医療用品などを送ります。
- 障がい者の仕事の機会を作ります。キャップ分別・異物除去などを行います。

### 1

## 「ペットボトルキャップ」のその後

J.A.しまね雲南女性部(大東支部)の皆様にお世話になりました

1月第91号で紹介した回収ペットボトルキャップは、J

# 9,117個

### 積重ねの善意

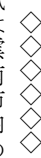


対応していただいたJ.A.しまね雲南女性部の内田さん。

「エコキャップ推進協会」(横浜市、2007年設立)に納めていただくこととなりました。大東支部では5年ほど前から同様な受け入れ事業を継続されており、本校としては今回初めてお世話になりました。



へは個人で直接送付も可能で、協会のHPではこれまでに協力した団体や個人の名が紹介されています。それによると、ここ数年で雲南市内の多くの学校や事業所でも協力されていることが分かり、嬉しく思いました。小さな活動ではありますが、小中学校からの活動が高校でも継続する地域連携の一つとも考え、取り組みが一過性のものにならないようにと願っています。ちなみに、今回の回収分約9千個は、3年前から積重ねたものです。



本紙は雲南市内の自治会を通じて回覧をお願いしておりますが、91号の関連記事をお読みいただいた方から、活動に協力したいと学校へキャップをお持ちいただきました。活動のすそ野の広がりが感じられ嬉しくなりました。

### 3

## 毎週末のボランティア

三刀屋の平成記念病院に隣接する特別養護老人ホーム梅里苑で、毎週土曜日にボランティア活動を続けるのは2年の新田涼也さん。社会福祉方面への進学・就職をめざしているわけではないが、同施設に勤務する方から声をかけられたのがきっかけで、昨年8月から週一回の訪問を続けて



人生初の餅つきにも挑戦する新田さん(写真は梅里苑新聞委員会提供)

梅里苑が1月下旬に発行した機関紙「うめのさと」93号でも紹介していただき、本人も照れ臭そうだったが、学校での活動に支障がない限り続けたいとのことだ。なお、梅里苑には本校JRC部も平日の放課後にたびたび訪問している。年明けはインフルエンザの流行等によりしばらく訪問を控えていたが、春からは活動を再開するとのことだ。

### 4

## 「自分をつくる楽校」

月一回の土曜学習(6月~11月、8月は台風のため中止)

- ▽お世話になりました
- ▽雲南市
- ▽雲南市教育委員会
- ▽「アラール」(東京在住の若手社会人中心の皆さん)
- ▽ほか地域の皆様

「お世話になりました」 昨年の6月にスタートした「自分をつくる楽校」では、雲南市教育委員会をはじめ、多くの皆様のご支援を得て本校生徒も貴重な体験を積み重ねることができました。参加生徒からは、「アラールの皆さんに自分自身の考えや良さを引き出してもらい、自分を再発見し、これまでよりも将来を展望できるようになった」との感想が多数寄せられました。改めて感謝申し上げます。なお、春休み中には東京での研修会に本校から4名の生徒が参加を予定しています。内容については、結果報告を兼ねて4月号で紹介させていただきます(「自分をつくる楽校」の詳細については、雲南市報1月第122号をご参照ください)。

主催/地域でつなぐキャリア教育モデル事業雲南地区連携推進連絡会

【参加生徒の感想】自分をつくる楽校イン3瓶(9月1泊2日)に参加させていただき、ありがとうございました。今までは自分は、全ての事を成るようになると思い、将来の夢についてダラダラしている一面がありました。しかし、この研修の後に家族と将来の話をよくするようになりました。すると、親も私に合った職業などを一緒に考えてくれるようになりました。最近になってようやく進路目標が明確になってきました。この研修に参加して良かったです。(2年男子)



### バスケットボール



【三高カップとは?】  
昭和40年

## 6 三刀屋高校高カッパ

### 中学生バスケットボール交歓大会

代から50年代にかけて、三刀屋高校の活動を支えていた中学校(大東町・加茂町・木次町・三刀屋町・吉田村・掛合町・仁多町・横田町)のバスケットボール部が集まり、三刀屋高校バスケット部OB会の主催で、年に2回大会を開いていたそうです。この頃から三刀屋高校の黄金時代が築かれていったのではないかと思われます。

その後、いつしか開催されなくなりりましたが、平成19年、当時三刀屋中学校男子バスケット部OB会顧問で三刀屋高校バスケット部OB会である星野寿幸先生が、雲南市内の中学校を集めて交歓大会を開かれました。そして、この大会を、平成24年度から顧問

### 5 島根スサノオ VS 高松

### bjリーグ公式戦をお手伝いしました

バスケットボールbjリーグの島根スサノオマジック対高松ファイブアローズの公式戦が今月7日(土)、三刀屋文化体育館アスパルで開催され、

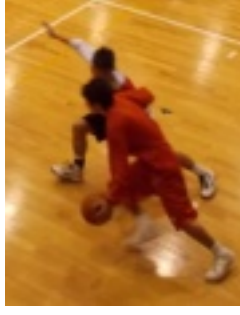


300枚程のパネルをつなぎ合わせたスポーツコートの撤収作業

今春卒業生を含む本校バスケット部員27名が大会運営をお手伝いした。会場作りから入場口でのチケットのもぎりや販売・警備、ゆるキャラ「すさたまくん」

### 7 国体選手選考会に出場(男子1年細木さん)

県内高校トップレベルの選手25名程が集まった来年度の国体少年男子の選手選考会に、本校からは1年の細木淳之介さん(写真手前)が参加した。



作業量となったが、一人何役もこなしながら皆で手際よく仕事をこなし、男子の目次監督は「新たな発見ができた」、チームの結束力が増したりと、今回のボランティアが貴重な経験になったようだ。

### 8 目次監督(男子バスケット部 体育科 教諭)退職



体育科の目次寿明教諭が今年度末をもって退職となります。平成20年度から7年間の本校勤務で、特にこの1年間は古豪復活を印象付ける男子バスケット部の活躍を牽引しました。

卒業式前の2月28日(金)、市内某所で行われた「目次先生を囲む会」。部の保護者会のほか、OB会の皆さんにもお世話になりました。

の目次寿明教諭(体育科)が引き継ぎ、「第1回三高カップ」として新たにスタートしました。会場を三刀屋文化体育館アスパルとして、公式大会ではなく交歓大会として雲南地区中学生を中心にバスケットボール競技のレベルアップと親睦、および三刀屋高校の紹介を目的として開催するものです。現在の優勝トロフィーはOB会の寄贈によるものです。

### 地域の誇りを再確認

通常の鉱山開発は自然破壊となったが、鉄穴流しは結果的に跡地を耕地(棚田)として再開発した稀有な例であり、世界に誇る自然リサイクル例と言える。お隣の奥出雲町が申請した「奥出雲たたら製鉄及び棚田の文化的景観」は、昨年3月に正式に国の重要文化的景観に選定された。その文化

的景観は奥出雲町だけではなく、雲南圏域に広く散見されるものであり、鉄穴流しが遺した何気ない古里の里山景観を一緒に誇りたい。

本シリーズは昨年6月発行の第85号で連載をスタートしたが、『山陰中央新報』でも今年の1月からは「鉄のまほろば」と題する連載特集を組んでいる。市民に認知してもらおうための啓発活動も裾野を広げつつあるが、生徒を含めてまだまだ一般の方々にはその文化的価値が認識されているとは言い難いのも現実だ。

私がたまたま文献によって「鉄穴残丘(10月第88号に関連記事)」について関心を持ち始めた平成20年頃は、安来市の比田地区から雲南圏域の「鉄穴残丘」を探し歩きながら地元の方にお話を聞いて、「鉄穴残丘」という言葉はもろろん、なぜその小山が田んぼの中に

### 斐伊川今昔物語 第9回 「シリーズの一年を振り返って」 たたら侍の時代が息づく文化的景観

### 錦織良成監督映画「たたら侍」を勝手に応援するシリーズ

取り残されたような形で存在しているのか、知る人はほとんどいなかった。例えば飯南町でも地元の鉄穴流しの歴史や鉄穴残丘について広く知られるようになったのは、つい5年ほど前に、研究の第一人者である山口大学教育学部名誉教授の貞方昇氏の講演とフィールドワークがあつてからのことと聞く。

「たたら侍」が生まれた時代状況を少しでも知っていたら、何となく1年間、何とかシリーズを継続したい。

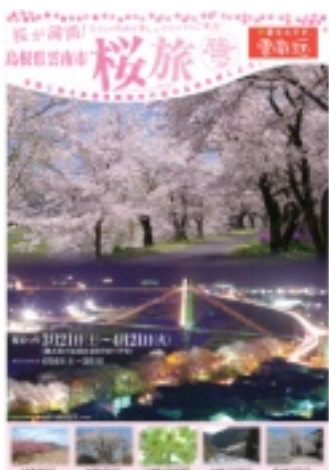
# 雲南市桜まつり2015

3/21(土)~4/21(火)

メインイベントは 4/4(土)、5(日)

うんなん若者会議からの発信!

**三高生は「うんなん若者チャレンジプロジェクト2015」に参加  
桜のツリーハウス(写真下)作りにも協力 校内でボランティアスタッフも募集中!**



卒業前に、桜並木に吊るす家形オブジェの絵付けに協力する3年生(写真)。祭り本番にはAEDの灯りがともされる。

- ★美術部&一般生徒 → 桜のツリーハウス作成協力
- ★吹奏楽部→4/4 木次駅前
- ★箏曲部→4/5 フェリハホール
- ★演劇部 → 4/4(土)・5日(日)の両日、木次の古民家で公演します。

第24回定期演奏会

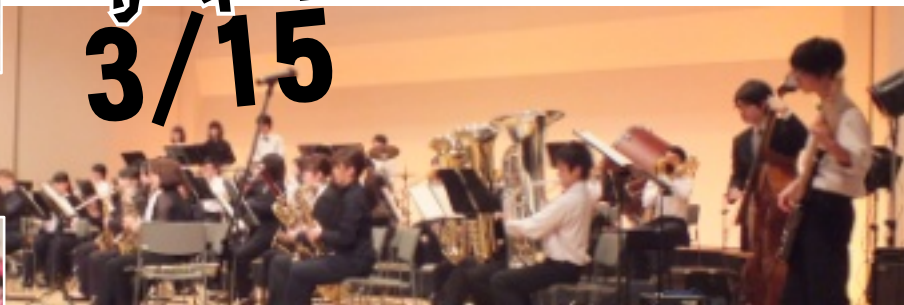
吹奏楽

# 春

ご来場ありがとうございました



# サイコー~の一日でした! 3/15




**部員19名+OB 22名+エキストラ7名+しまねソフネット高校オケストラ(4校弦楽部42名)+観客の皆様 = サイコーの定演でした!**



# 大入り

↑安来・松江東・出雲・益田翔陽の4校弦楽部(同好会)とコラボ演奏も

| 日  | 曜 | 学校行事等                                                   | 生徒会&部活等                                                                           |
|----|---|---------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 水 |                                                         |                                                                                   |
| 2  | 木 |                                                         |                                                                                   |
| 3  | 金 |                                                         |                                                                                   |
| 4  | 土 |                                                         |  |
| 5  | 日 | 開寮                                                      |                                                                                   |
| 6  | 月 |                                                         |                                                                                   |
| 7  | 火 |                                                         |                                                                                   |
| 8  | 水 | 着任式 始業式                                                 |                                                                                   |
| 9  | 木 | 入学式 対面式 入寮式                                             |                                                                                   |
| 10 | 金 | 新入生オリエンテーション<br>課題テスト<br>人権に関する意識調査(1年)<br>8限授業(4/21より) | 部活動紹介<br>前期生徒会役員選挙告示                                                              |
| 11 | 土 |                                                         |                                                                                   |
| 12 | 日 |                                                         |                                                                                   |
| 13 | 月 | 自転車点検                                                   |                                                                                   |
| 14 | 火 | 身だしなみ指導<br>心電図・血液検査(1年)<br>内科検診(2年2クラス)                 | 前期生徒会立会演説会・選挙                                                                     |
| 15 | 水 | 6限授業 尿検査①                                               |                                                                                   |
| 16 | 木 | 内科検診(1年3クラス)                                            |                                                                                   |
| 17 | 金 | 内科検診(1年2クラス)                                            |                                                                                   |
| 18 | 土 |                                                         |                                                                                   |
| 19 | 日 |                                                         |                                                                                   |
| 20 | 月 |                                                         |                                                                                   |
| 21 | 火 | 内科(3年3クラス)<br>7限授業<br>第1回PTA評議員会                        |                                                                                   |
| 22 | 水 | 内科検診(2年生3クラス)                                           |                                                                                   |
| 23 | 木 | ↑ 1年フレッシュマンサテ<br>(三瓶)                                   |                                                                                   |
| 24 | 金 |                                                         |                                                                                   |
| 25 | 土 |                                                         |                                                                                   |
| 26 | 日 |                                                         |                                                                                   |
| 27 | 月 | 遠足(2・3年)<br>1年代休                                        |                                                                                   |
| 28 | 火 | 第1回PTA進路指導委員会                                           |                                                                                   |
| 29 | 水 | 昭和の日                                                    |                                                                                   |
| 30 | 木 | 3年進研記模試<br>3年就職・公務員ガイダンス                                |                                                                                   |

## 保護者の皆様もご承知おき下さい

### こども相談窓口のホットライン

以下のカード等を生徒に配布して紹介しています

島根県



↑平成25年度1年間で、1,167本かかってきたよ。

- ★キミがはなしたことはだれにもいわないよ。
- ★なまえはいわなくていいし、きかないよ。
- ★イヤだとおもったらきってもいいよ。
- ★なんでもいっしょにかんがえるよ。

▼子どもほっとライン  
日曜日の午後2時から  
午後6時まで

全国



▼チャイルドライン  
日曜日を除く  
午後4時から  
午後9時まで



↑1年度末に新たに配布した島根県の支援マップ  
(各種連絡・問い合わせ先を掲載)

本当に必要なとする時、すぐに連絡先電話番号(問い合わせ先)が分かるよう、ここにあげたカードやリーフレットは、校内にも掲示しています。

## 防犯カメラが設置されました バスセンター(三刀屋高校入口)

従来から左記のようなご意見があり、学校としても要望していた防犯カメラを三刀屋バスセンターに設置していただきました。田舎でも何が起きるか分からない時代です。防犯カメラのあるなしに関わらず、犯罪を起こさせない、犯罪に巻き込まれないよう防犯意識を高めましょう。  
(自転車の鍵かけも同様ですね)

### 学校評価 保護者アンケートの意見より

※ 部活終了後、夜7時以降にバス停の所で送迎の車を待っている際に、酔った人がからんできたりすることがあると聞いたことがあります。男の子ならともかく女の子のいる家庭は心配だと思うので、夜7時半～8時半にかけて警察の見回りを強化してはどうかと思います。何かあってからでは遅いように思います。

放送

県内高校の放送部仲間が結集

◇「ON AIR」とは…普段は学校生活の裏方?として活動している島根県内各高校の放送部にとって、年に一度の表舞台。県内高校の1、2年生の放送部員約100名がステージの上でスポットライトを浴び、日頃の活動の成果を発表した。そして、いつものように裏方も頑張った。

# オン・エア ON AIR



第14回高校放送フェスティバル in 江津  
(3月14日、江津市ミルキーウェイホール)

## 司会進行は藤原さん(2年)

第1部はアナウンス・朗読を披露する「読み」のステージ。夏に開催される東京でのNHKコンテストや全国高校総合文化祭に出場する(出場した)皆さんの晴れ舞台でもありますが、その進行を務めたのが本校放送部の藤原香玲羅さん(2年)。発表者へのインタビュも交え、堂々たる司会進行でした。

第3部では、地元江津市の高角小学校の児童が柿本人麻呂の「相聞歌」を披露したり、日露戦時の「イルティツシユ号のはなし」、「さくらえのみんわ」を朗読したりと、地域に密着した発表が続き、前日に高校生が江津市取材して作成した地元PRビデオも上映されました。

高校放送部員の地域へのこだわりが感じられるフェスティバルでした。

オンエアでは、全国区の活躍をみせる県立飯南高校制作のビデオ番組も上映されました。その一つは雲南市の卵にスポットを当てた作品。「卵かけご飯」「とろとろオムライス」等を紹介しつつ、卵で地域活性化に取り組もうと意欲的な活動を展開する「人」に狙いを定めており、全国でも高く評価されるのはその熱いメッセージ性にあります。そして、三刀屋高校放送部も昨秋、木次名物の「焼サバ」をとりあげた番組を制作するなど頑張っています。

ただ単に取材対象を説明するだけの映像ではなく、今後地域に取材し、地域で頑張る「人」の熱意が伝わるような番組制作を心がけます。実は、学校だより「蒼雲」も、ただ単に校内の動きを説明するだけでなく、読者の皆さんの思考につながる「働き」を期待して発行しています。新聞と同様に、学校だよりは作品ではありません。三高の今後を考える材料ともなってくれる、そんな「働き」「影響力」を期待して来年度も発行を続けたいと思っています。ご協力をお願いします。

### 蒼雲後記

春の色を「存知ですか。『青春』と言うが如く春を象徴するカラーは青です。新生活をスタートする若者にふさわしい色とも言えますが、雲南には春から真つ赤に燃えるシンボルがあるのをご存知ですか。市内吉田町で修復なつた菅谷高殿の前にそびえる桂の木(鉄の神様が宿る木)は、まもなく燃えるような赤い芽吹き姿を見せてくれます(わずか3日間ほど)。

市のあった航空機製造工場へと送られた。そして冒頭で紹介した卒業式があった3月以降、東京をはじめとして大都市での空襲が激しさを増し、名古屋でも三刀屋中学の生徒、教員が犠牲となった。悲惨な場合は、決して戦場だけではない。

# さんこう 三高90年物語



## 第10回 70年前の卒業式 学びを奪われた生徒の無念

アジア太平洋戦争終結から70年。戦中戦後の歴史を振り返るマスコミ報道も多くなることがだろうが、私たちが現に生活する空間で、70年前にどのような時間が過ぎて行っていたのか、今年は本シリーズでも何回か追ってみることにする。

昭和20年3月、通年動員生徒の卒業式を迎えることとなった。この年は「戦時非常措置方策」(昭和18年10月閣議決定)によって、4年修了者の繰り上げ卒業が実施されることとなり、4年生、5年生の同時卒業となった。

日立安来工場へ動員された5年生は、3月25日の日曜日を利用して帰校し、第17回卒業証書授与式を挙行了した。在校生(1年生のみ)列席のもと、10時開式で1時間半で終えるという、決戦下のあわただしい卒業式で

あった。なお当日の卒業生は67名であった。さきに殉職した中林照雄、若月進の両名も、卒業者の中に加えられた。

日立安来工場へ動員された5年生は、3月25日の日曜日を利用して帰校し、第17回卒業証書授与式を挙行了した。在校生(1年生のみ)列席のもと、10時開式で1時間半で終えるという、決戦下のあわただしい卒業式で

日卒生は81名であった。しかし、学校は卒業したもの、軍関係への進学者や入隊者、理科系上級学校への進学者等を除いて、卒業生は付設課程実務科として、そのまま出動先に動員継続となった。第5学年卒業生は4月13日まで日立安来工場に勤務し、同17日より大和兵器実道工場(サン七七五〇工場)に配置転換となった。

日立安来工場へ動員された5年生は、3月25日の日曜日を利用して帰校し、第17回卒業証書授与式を挙行了した。在校生(1年生のみ)列席のもと、10時開式で1時間半で終えるという、決戦下のあわただしい卒業式で

日立安来工場へ動員された5年生は、3月25日の日曜日を利用して帰校し、第17回卒業証書授与式を挙行了した。在校生(1年生のみ)列席のもと、10時開式で1時間半で終えるという、決戦下のあわただしい卒業式で

日立安来工場へ動員された5年生は、3月25日の日曜日を利用して帰校し、第17回卒業証書授与式を挙行了した。在校生(1年生のみ)列席のもと、10時開式で1時間半で終えるという、決戦下のあわただしい卒業式で



昭和20年3月卒業生(5年修了者)

季節にも実はいろいろなカラーがあります。新生活は何色にも染まる純白からのスタートかもしれないが、卒業していった皆さん、そしてまもなく三高に入学してくる新入生の皆さんにも、それぞれのカラーを打ち出していってほしいと思います。(編集長記)